

【令和7年9月16日更新】基地防空部隊年次射撃視察



航空戦術教導団司令は、令和7年8月に静内射撃場において実施された基地防空部隊年次射撃について、訓練実施部隊指揮官である高射教導群司令から訓練実施状況の報告を受けるとともに、訓練状況を視察しました。

基地防空部隊年次射撃とは、年に一度全国の基地防空部隊を集めて、実弾を使用して射撃する訓練です。航空戦術教導団に所属する高射教導群基地防空教導隊は、安全かつ円滑に射撃訓練ができるよう入念な準備や統制を実施するとともに、参加した基地防空隊に対して部隊として最大限実力が発揮できるよう細部にわたり教導（指導）し、それぞれの部隊の能力向上を図っています。

【令和7年9月26日更新】串本分屯基地（レーダー評価）視察



航空戦術教導団司令は、令和7年9月に串本分屯基地において実施されたレーダー評価隊によるレーダー評価の実施状況を視察しました。

レーダー評価隊は、警戒管制レーダーが正常に作動しているかなど、データ収集及び分析を実施する航空自衛隊唯一の部隊です。

【令和7年12月19日更新】 協同戦術課程及び終末誘導員講習



協同戦術課程卒業式



協同戦術課程の教育風景



終末誘導員講習の教育風景

航空支援隊は、令和7年度における協同戦術課程及び終末誘導員講習を実施しました。協同戦術課程及び終末誘導員講習とは、航空自衛隊の教育訓練において陸海空自衛隊の空地作戦に関わる隊員を養成するための教育です。航空支援隊は、終末誘導員講習を履修した陸上自衛官に対し、練度維持のため継続した教育支援も実施しています。

【令和7年12月19日更新】 令和7年度第1回直轄部隊長会同及び第1回戦術団准曹士先任集合訓練



令和7年9月11日及び12日の間、令和7年度第1回直轄部隊長会同及び第1回戦術団准曹士先任集合訓練が実施されました。戦術団は隷下部隊が全国に所在するため、司令部の所在する横田基地にて直轄部隊長に対し司令部各部班より業務計画等の説明及び直轄部隊からの状況報告を実施しています。

准曹士先任についても直轄部隊長会同と同時期に集合訓練を実施することで、団司令の意図の徹底及び准曹士先任として必要な知識の付与をするとともに先任相互の連携強化と問題共有による更なる活性化を図っています。

【令和7年12月19日更新】20式小銃研究射撃視察



航空戦術教導団司令は、令和7年9月24日に陸上自衛隊東富士演習場で実施した20式小銃の研究射撃を視察しました。基地警備教導隊は、教導訓練のほかに研究業務も行っており、その一つとして20式小銃導入に係る必要な研究を実施しています。

【令和7年12月19日更新】F-15の識別塗装



令和7年10月、飛行教導群が保有するF-15の識別塗装が実施されました。飛行教導群は通称「アグレッサー（侵略者）」と呼ばれ、各部隊の教導訓練の際に敵役として訓練を実施します。この識別塗装は、敵味方の区別を容易にするためのもので、塗装パターンは飛行教導群所属隊員が考案し、塗装作業まで自隊で実施しています。

【令和7年12月19日更新】 令和7年度I－ASP（統合防空ミサイル実弾射撃訓練）



日米集合写真



航空総隊司令官訓示



実弾射撃の様子

航空戦術教導団は令和7年10月～11月の間、米国において航空総隊が実施するI－ASPに参加しました。本訓練は、昨年度からASP（Air And Missile Defense Shooting Practice）にI（Integrated）を付しI－ASPとして陸上自衛隊高射部隊と連携した陸空協同射撃訓練を始め、日米共同射撃訓練、陸空協同防空戦闘訓練など統合防空ミサイル防衛能力の向上を目的に実施しています。